

高梁2025 “地域医療はまちづくり”

「高梁2025」は、持続可能な地域医療体制の構築に向けた取り組みの総称です。

看護職の定着促進に向けた取り組み「高梁かんどねっと」

近年コロナ禍により、医療機関での看護実習が困難であったこともあり、市内医療機関では採用後早期に離職したり、就職後に不安を抱えている若手の看護職が多くいました。こうした状況から、高梁かんどねっとでは看護職員の早期離職防止、職場定着を促進し、新人が職場で看護実践力を発揮できるようになることを目指して、令和4年度から新たに新入職者のメンタル面のサポート研修を継続開催してきました。

市内医療機関（4病院）に勤務する新人看護師（1～3年目）を対象に、吉備国際大学看護学科の竹崎和子教授^{たけさきかずこ}を講師に招き、新人が感じやすいストレスやリアリティショックへの対処方法、意見が対立した時のアプローチの方法などを全4回の研修会で学びました。

また、毎回グループワークでは他の医療機関で働く新人看護師仲間と意見の交換や悩みを共有し合うことで、1年間を通して自分の働き方や感じたことを内省し、自分の目指す看護観を再確認し合いました。



ストレスへの対処法を学ぶ



自分の悩み・看護観を共有

☎地域医療連携課 ☎ 21-0304

市ウェブサイト「高梁2025～地域医療の高梁モデル構築に向けた100の検討とアクション～」にこれまでの議論の内容などを掲載しています。



健康づくり応援通信

☎健康づくり課 ☎ 21-0228

みんなで受けよう 大腸がん検診！

コロナ禍以前に比べると、高梁市の大腸がん検診の受診者は約800人減っています。その一方で、大腸がんにかかる国民健康保険の医療費は年々増えています。高梁市では大腸がん検診の受診率50%以上を目標としていますが、令和2年度の受診率は5%でした。そこで市では、令和5年度に大腸がん検診が500円で受けられる「大腸がん検診を受けようキャンペーン」を行います。大腸がん検診は便を提出するだけの簡単な検診ですので、この機会にぜひ受診しましょう。詳しくはけんこうガイドブックやウェブサイトをご覧ください。また、その他の検診は二次元コードからも予約ができます。



ながせしょうこ 長瀬祥子 保健師
(健康づくり課)

市で大腸がん検診を受診する人へ

| | 集団検診で受ける場合 | | 指定医療機関で受ける場合 | |
|------|--|-------|--|-------|
| 年齢 | 40～69歳 | 70歳以上 | 40～69歳 | 70歳以上 |
| 料金 | 500円 | 無料 | 500円 | 100円 |
| 期間 | 6月～11月 | | 6月～令和6年2月 | |
| 受診方法 | 愛育委員回覧で希望を取りまとめ、後日愛育委員が検査キットをお渡しします(一部地域を除く)健康づくり課、各地域局、各地域市民センターでもお渡しできます | | 市指定医療機関へ予約が必要です。検査容器を事前に医療機関で受け取ってください | |
| 持ち物 | 検便容器、問診表、健康保険証、受診料金 | | 検便容器、健康保険証、受診料金 | |